

2019年 統一地方選

新人議員研修会ひらく

9氏受講

愛知県委員会は5月15日、4月の統一地方選挙で当選した新人(元含む)議員の研修会を開催し、9人が受講しました。

林信敏県自治体部長が党自治体局『新人議員』これだけは知っておきたい』にもとづき、地方議会のしくみと議会・議員の権限、議会質問の準備、要求運動や生活相談の留意点、議員としての党活動・党生活などについて講義しました。わしの恵子前県議、山口清明前名古屋市議が助言者として参加しました。



新人議員研修を受けるみなさん=15日、愛知県委員会

「綱領や理念があり、誇りに思う」出席した新人議員の感想(要旨)を紹介します。

【石田裕信・春日井市議】これからの活動に参考になり今後につながる内容で良かったです。長時間の講義がまったく気になりませんでした。

【三輪陽子・江南市議】これから臨時議会というタイミングで研修会があり、経験を交えながら話を聞くことができ、よかったです。

【浅尾もと子・東栄町議】予算・決算など全く分からず悩んでいたところだったので、とてもよかったです。県委員会に相談窓口を設けていただけのことと、新人の一人議員として心強く思います。

【森下祥子・安城市議】他市の新人議員と交流する場があることは、一人会派の私にとって、とても力強く感じる機会になりました。

【坂林たくみ・日進市議】議員として活動していく上で基本的な大切なことを改めて学びました。繰り返し身につけないと忘れがちになるのでよい機会でした。

【野田佳延・武豊町議】国保税引き下げを公約しました。6月議会に一般質問があります。毎日の活動のなかで、共産党議員としての役割を高めていきたいと思えます。

【加藤哲生・あま市議】地方自治体の住民の代表としての議会・議員の役割、学習の必要性を改めて実感しました。

【渡邊さつ子・長久手市議】なかなか文献が読めずに心配していましたが、やさしく、丁寧に教えてくださり、ひとつ安心しました。不動の心に早くなりたいです。皆の力を借りて活動します。

【新井亜由美・瀬戸市議】知らないことだらけで、研修は大変ありがたいです。他党の議員と違って、綱領や理念があり、先輩や仲間がたくさんいます。安心で、誇りに思います。

4月の選挙で掲げた公約実現の活動、6中総決定を受けた参議院選挙勝利に向けた活動の一環として、6月議会でも積極的な国への意見書採択に取り組みしましょう。

意見書(参考例)

10月からの消費税10%増税への引き上げ中止を求める意見書(案)

政府は本年10月から消費税率を現行の8%から10%に引き上げるとしている。5年半に及ぶアベノミクスの推進により経済を成長させてきており、最大規模の景気対策も行うので、増税による経済への悪影響への懸念はあたらぬとしてきた。

しかしながら5月13日に内閣府は景気動向指数の基調判断について、「下方への局面変化」から6年2か月ぶりに最も厳しい判断である「悪化」に引き下げた。米中貿易戦争が深刻化するなか世界経済も減速しており、日本経済への更なる悪影響も強く懸念されるなか、政府自身も景気悪化の可能性を否定できなくなっている。

これまで3回行われてきた消費税増税は、いずれも政府の景気判断が、好景気や回復期に行われてきた。それでも過去の増税は、どれも消費不況の引き金を引く結果となってきた。2014年の消費税%への増税を契機に家計消費は落ち込み、実質賃金の低下している。景気が後退局面にさしかかった時期での消費税増税は歴史的にも前例がない。

7月に発表される日限短観が示す景況感次第では、増税実施の延期もあり得る、との発言も報じられたが、5兆円規模の大規模な増税は家計の購買力を奪い日本経済にも深刻な打撃を与えるものとなるのは明らかである。

よって〇〇議会は、国会及び政府に対し、本年10月からの消費税10%増税を中止するよう強く要望する。以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。